# 参考資料

# 最近の繊維産業の動向

2015年10月

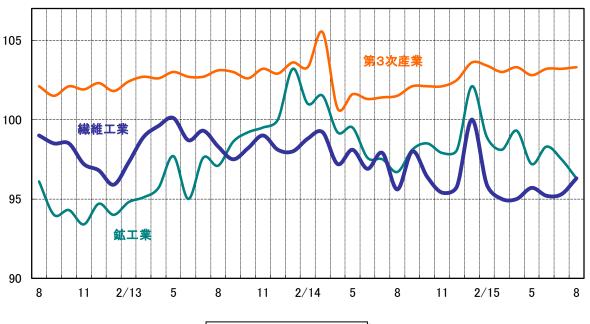
日本化学繊維協会

## 図-1 日本の繊維産業

#### 鉱工業・繊維工業生産・第3次産業活動

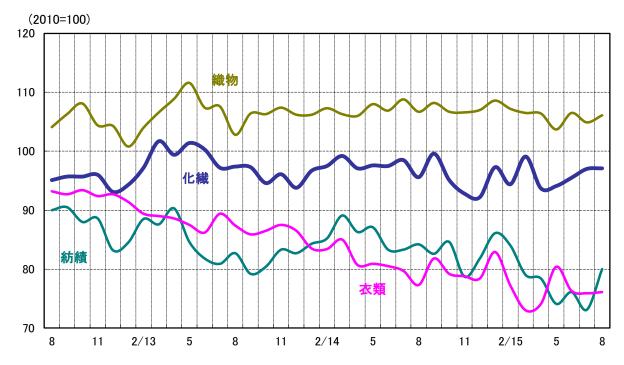
◎8月の鉱工業生産指数(確報)は前月比1.2%低下の96.3と2か月連続で低下。速報値(0.5%低下の97.0)から大幅に下方修正され、2013年6月以来の低水準となった。経産省は基調判断を「総じてみれば、弱含んでいる」に下方修正した。繊維工業は1.0%上昇の96.3。第3次産業活動指数は横ばいの103.3。

#### (2010 = 100)



#### 繊維加工段階別生産

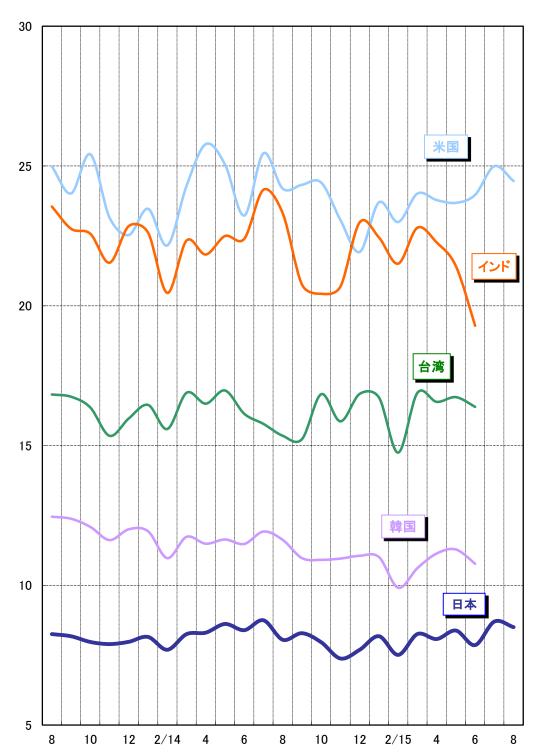
◎8月は紡績、織物が上昇、化繊、衣類が横ばいとなった。



(出所)経済産業省 (注)季節調整済み



(万トン)



(出所)各国統計(オレフィンを含む) (注)米国はセルロースを含まない。 中国の生産はp5を参照。 インドは一部推定を含む。

表-1. 主要国の化繊生産増減率

(%、前年同月比)

	日本	米国	韓国	台湾	インド
2013年8月	3	11	▲ 0	8	▲ 3
9月	5	6	1	10	▲ 2
10月	<b>▲</b> 2	5	▲ 3	▲ 0	▲ 4
11月	3	6	1	▲ 3	▲ 3
12月	0	11	4	1	3
2014年1月	3	▲ 0	▲ 3	▲ 4	▲ 2
2月	1	▲ 5	▲ 3	2	▲ 2
3月	▲ 1	2	▲ 7	1	8
4月	▲ 0	7	▲ 8	2	2
5月	0	3	▲ 7	▲ 1	▲ 2
6月	2	▲ 1	▲ 3	▲ 2	▲ 1
7月	1	▲ 4	▲ 2	▲ 4	9
8月	<b>▲</b> 2	▲ 3	▲ 7	▲ 9	▲ 1
9月	1	1	▲ 11	▲ 9	▲ 9
10月	▲ 0	▲ 4	▲ 10	3	▲ 10
11月	<b>▲</b> 7	▲ 0	▲ 6	3	▲ 4
12月	<b>▲</b> 4	▲ 3	▲ 8	6	1
2015年1月	0	1	▲ 8	2	▲ 1
2月	<b>▲</b> 2	4	<b>▲</b> 10	▲ 5	5
3月	0	▲ 1	<b>▲</b> 10	▲ 0	2
4月	▲ 3	▲ 8	▲ 3	0	2
5月	<b>▲</b> 3	▲ 5	▲ 3	▲ 1	▲ 5
6月	<b>▲</b> 6	3	▲ 6	2	▲ 14
7月	<b>▲</b> 1	▲ 2			
8月	6	1			

(出所)各国統計(注)米国はゼルースを含まない。

•日本:8月は5か月ぶりに前年比増加。アクリルSが輸出好調により4か月連続で増加。

・米国:8月は2ヶ月ぶりに前年比増加。カーペット用の好調が継続。

•韓国:2014年から今年6月まで20か月連続で前年割れ。ナイロンF、ポリエステルFが不振。

台湾:3~6月にかけて、生産が底打ちか。

・インド:6月は2ケタ減、2か月連続のマイナス。

・中国:大きなデータ修正があり月別データは不明。p5を参照。

(日本、韓国、台湾、インドの品種別は次ページを参照)

表-2. 日本、韓国、台湾、インドの主要合繊生産増減率

								年同月比)
		ポリエス				ポリエス		
	日本	韓国	台湾	インド	日本	韓国	台湾	インド
2013年 8月	<b>▲</b> 5	<b>▲</b> 1	15	<b>▲</b> 12	▲ 5	<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 3	4
9月	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 2	23	▲ 8	3	3	<b>▲</b> 0	2
10月	<b>▲</b> 12	1	<b>▲</b> 0	<b>▲</b> 9	▲ 17	<b>▲</b> 12	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 2
11月	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 9	<b>▲</b> 6	▲ 8	1	<b>▲</b> 7	<b>▲</b> 3
12月	▲ 8	4	3	▲ 1	3	3	<b>▲</b> 9	5
2014年 1月	<b>▲</b> 12	▲ 5	2	<b>▲</b> 4	17	2	▲ 14	▲ 5
2月	▲ 11	▲ 7	6	<b>▲</b> 4	12	2	0	▲ 3
3月	<b>▲</b> 13	▲ 11	0	9	1	<b>▲</b> 2	6	5
4月	<b>▲</b> 21	<b>▲</b> 12	▲ 0	▲ 8	4	<b>▲</b> 2	6	7
5月	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 6	▲ 8	2	1	2	0
6月	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 3	<b>▲</b> 3	1	12	<b>▲</b> 3	<b>▲</b> 1
7月	<b>▲</b> 9	<b>▲</b> 9	<b>▲</b> 7	9	3	12	<b>▲</b> 4	13
8月	▲ 11	<b>▲</b> 15	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 2	2	5	<b>▲</b> 5	<b>▲</b> 0
9月	<b>▲</b> 7	<b>▲</b> 16	<b>▲</b> 12	▲ 17	▲ 4	▲ 6	<b>▲</b> 7	▲ 5
10月	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 17	9	<b>▲</b> 13	8	0	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 1
11月	4	<b>▲</b> 11	15	<b>▲</b> 4	<b>▲</b> 2	4	<b>▲</b> 5	3
12月	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 12	8	▲ 5	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 4	8	6
2015年 1月	<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 10	<b>A</b> 2	▲ 10	▲ 5	▲ 8	12	12
2月	<b>▲</b> 7	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 2	1	<b>▲</b> 5	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 6	13
3月	<b>▲</b> 1	▲ 8	2	0	▲ 5	<b>▲</b> 4	<b>▲</b> 3	5
4月	<b>▲</b> 7	<b>▲</b> 4	0	1	<b>▲</b> 9	<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 3	5
5月	<b>▲</b> 10	▲ 5	4	<b>▲</b> 4	▲ 6	1	▲ 6	7
6月	▲ 6	<b>▲</b> 4	3	<b>▲</b> 19	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 9	5	▲ 5
7月	<b>▲</b> 7			0	<b>▲</b> 5			
8月	<b>▲</b> 4				▲ 11			

		ナイロ	コンF			アクリ	JルS	
	日本	韓国	台湾	インド	日本	韓国	台湾	インド
2013年 8月	<b>▲</b> 7	3	▲ 0	0	11	21	43	30
9月	3	3	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 6	9	18	3	50
10月	<b>▲</b> 1	4	<b>▲</b> 3	<b>▲</b> 4	1	18	12	32
11月	▲ 8	<b>▲</b> 4	<b>▲</b> 2	6	6	56	125	30
12月	<b>▲</b> 6	<b>▲</b> 5	6	2	<b>▲</b> 10	49	<b>▲</b> 7	27
2014年 1月	<b>▲</b> 2	▲ 7	<b>▲</b> 2	29	2	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 43	9
2月	3	▲ 6	<b>▲</b> 3	9	<b>▲</b> 12	22	<b>▲</b> 14	26
3月	5	<b>▲</b> 11	0	11	<b>▲</b> 11	10	<b>▲</b> 23	22
4月	3	<b>▲</b> 13	3	10	2	<b>▲</b> 15	24	3
5月	<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 12	16	14	▲ 6	<b>▲</b> 23	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 12
6月	8	<b>▲</b> 14	<b>▲</b> 3	6	<b>▲</b> 9	<b>▲</b> 7	13	3
7月	0	<b>▲</b> 16	<b>▲</b> 4	7	7	<b>▲</b> 7	12	<b>▲</b> 17
8月	1	<b>▲</b> 13	<b>▲</b> 2	8	4	<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 25	5
9月	1	<b>▲</b> 10	<b>▲</b> 9	14	2	<b>▲</b> 9	<b>▲</b> 12	▲ 9
10月	6	<b>▲</b> 12	<b>▲</b> 7	9	<b>▲</b> 1	4	9	▲ 3
11月	5	<b>▲</b> 6	<b>▲</b> 10	3	<b>▲</b> 23	▲ 24	<b>▲</b> 7	<b>▲</b> 1
12月	8	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 3	22	▲ 8	<b>▲</b> 12	<b>▲</b> 4	<b>▲</b> 2
2015年 1月	<b>▲</b> 3	<b>▲</b> 11	<b>▲</b> 10	6	▲ 1	52	45	<b>▲</b> 11
2月	<b>▲</b> 5	<b>▲</b> 12	▲ 7	<b>▲</b> 0	<b>▲</b> 12	20	▲ 50	4
3月	<b>▲</b> 7	<b>▲</b> 17	<b>▲</b> 7	<b>▲</b> 1	<b>▲</b> 3		15	6
4月	▲ 8	<b>▲</b> 5	3	2	▲ 6	<b>▲</b> 16	4	12
5月	<b>▲</b> 15	▲ 8	<b>▲</b> 7	▲ 7	7	<b>▲</b> 5	<b>▲</b> 12	27
6月	<b>▲</b> 9	<b>▲</b> 2	<b>▲</b> 5	0	18	▲ 7	<b>▲</b> 11	1
7月	▲ 8				8			
8月	<b>▲</b> 1				3			

(出所) 各国統計

# 表-3. 中国の化合繊品種別生産推移

(万~、%)

				( )	<u>万 トン 、 %)</u>
	化繊計				
		セルロース計	レーヨンS	レーヨンF	アセテートF
2012年	3, 856	327	255	30	32
2013年	4, 161	383	308	27	
2014年	4, 390	372	310	24	
2015年1月	$\Box$		28	1. 3	
2月	<u></u> 689. 8		21	. 7	
3月	392. 2		27	'. 9	
4月	400. 4		28	3. 8	
5月	412. 6		28	3. 0	
6月	419. 9		26	5. 5	
7月	388. 7				
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
2015年累計	2, 699. 1				
前年同期比(%)	10. 3				

	合繊計	ポリエステル	ナイロン	アクリル	ビニロン	ポリプロピレン	<b>ポリウレタン</b>
2012年	3, 535	3, 140	209. 1	69. 1	8. 7	28	35
2013年	3, 783	3, 349	235. 2	69. 4	10. 1	27	45
2014年	4, 017	3, 566	259. 2	67. 6	11. 1	27	49
2015年1月	•••	312. 6	24. 4	5. 9	0. 7	2. 2	4. 5
2月		239. 7	18. 7	4. 5	0. 5	1. 7	3. 5
3月		315.4	24. 7	6. 2	0. 6	2. 5	4. 2
4月		324. 0	25. 5	6. 1	0.8	2. 2	4. 1
5月		336. 9	24. 7	6. 4	0. 9	2. 4	4. 5
6月		343. 2	27. 7	5. 9	0. 7	2. 5	4. 8
7月		317. 1	23. 5	6.0			
8月							
9月							
10月							
11月							
12月							
2015年累計		2, 184. 5	168. 7	41.0			
前年同期比(%)	•••	11. 5	17. 8	6. 6			

(出所)中国紡織工業連合会(国家統計局)

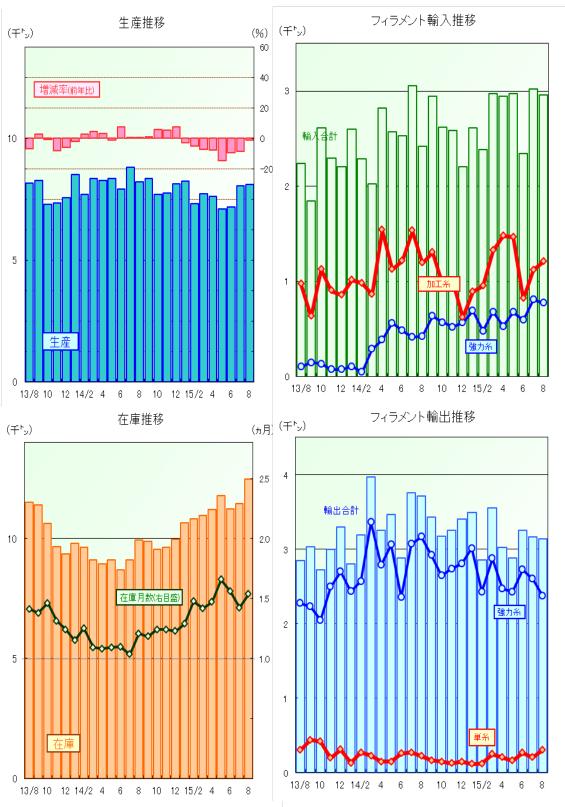
(注) 日本化学繊維協会の推定を含む。

#### 【2015年1~7月】

- ・7月の化合繊生産は389万~、累計は前年同期比10.3%増の2,699万~、。
- ・全体の8割を占めるポリエステルが11.5%増。
- ・ナイロンが17.8%増と大幅増が継続。
- これまで減少基調であったアクリルSが6.6%増の4.1万~と増加。

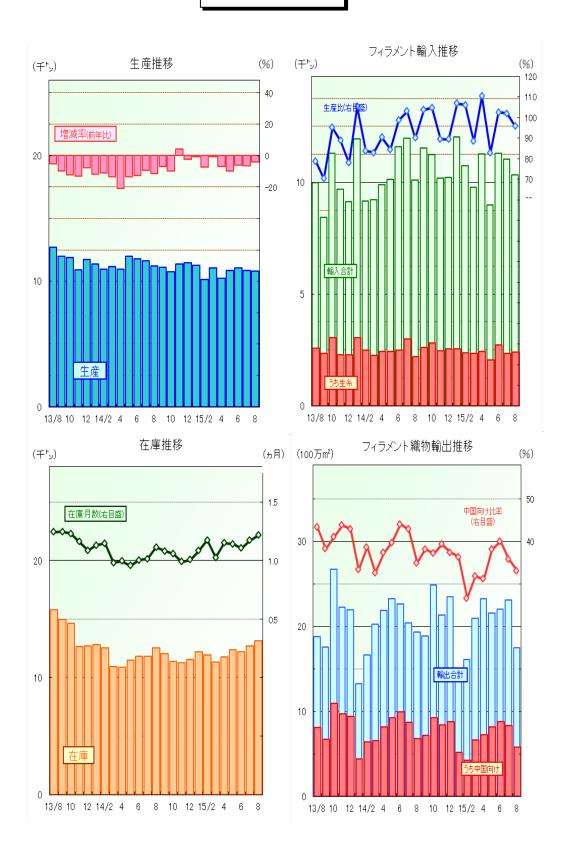
図-3. 日本の化繊生産・在庫・貿易

## ナイロンF

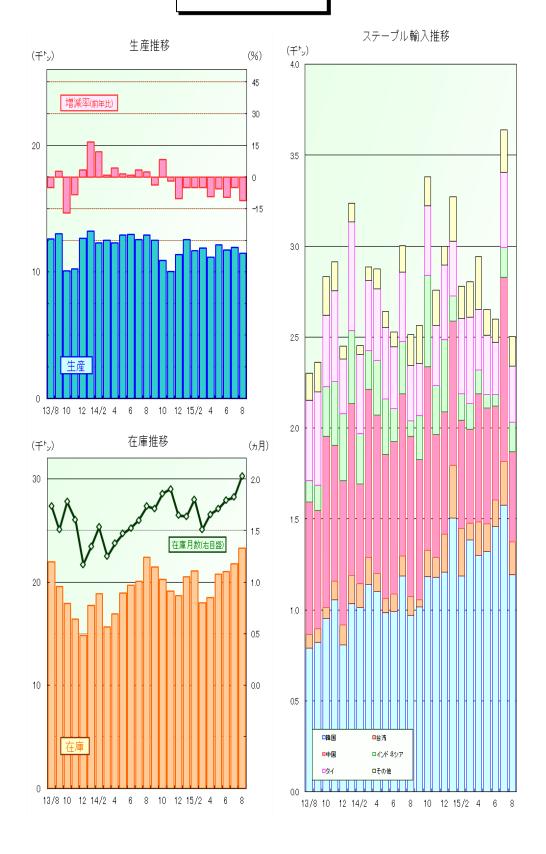


(出所)日本化学繊維協会、経済産業省、財務省。以下アクリルSまで同様。

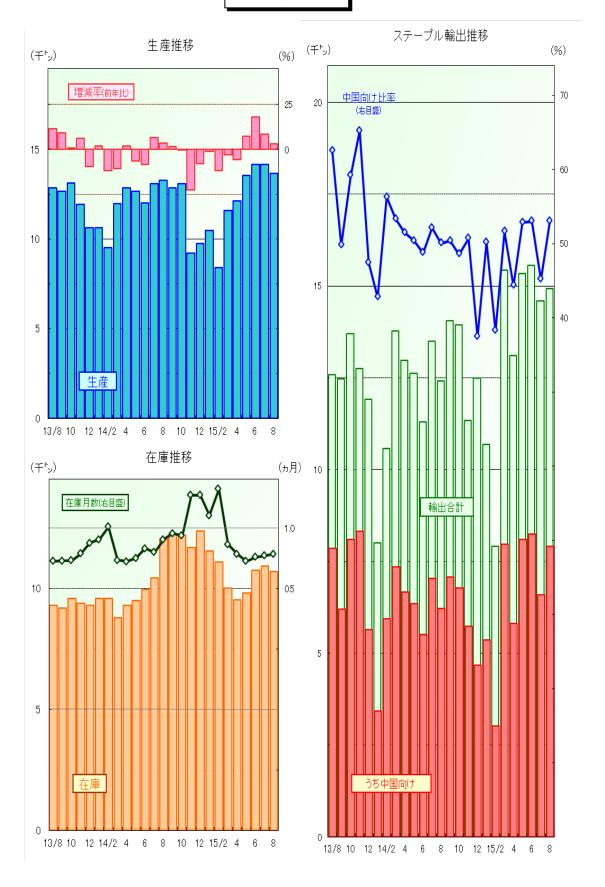
### ポリエステルF



# ポリエステルS



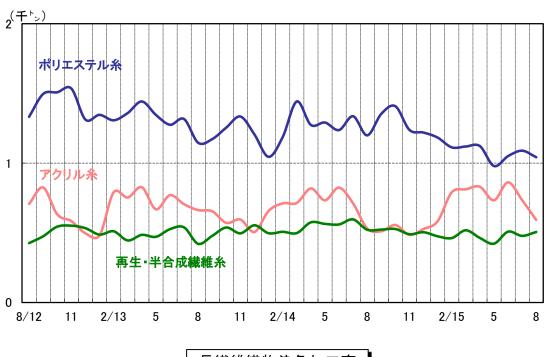
## アクリルS



# 図-4. 主要紡績糸生産・長繊維織物染色加工高

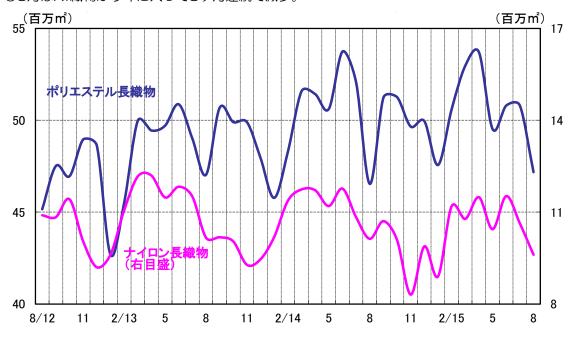
## 紡績糸生産

◎8月はポリエステル糸が7ヶ月連続のマイナス。



## 長繊維織物染色加工高

◎8月はNf織物が今年に入って8ヶ月連続で減少。

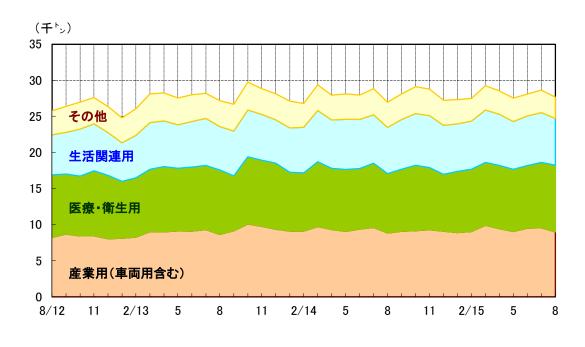


(出所)経済産業省

# 図-5. 不織布・炭素繊維生産高

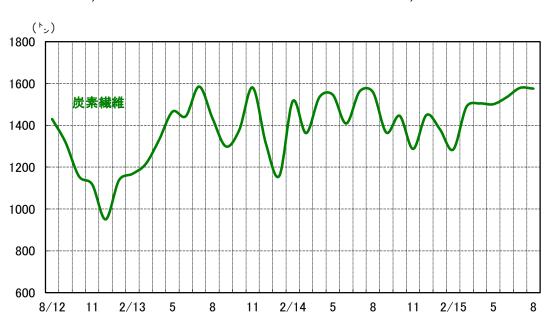
### 不織布生産

#### ◎8月は医療衛生用が5ヶ月連続のプラス。

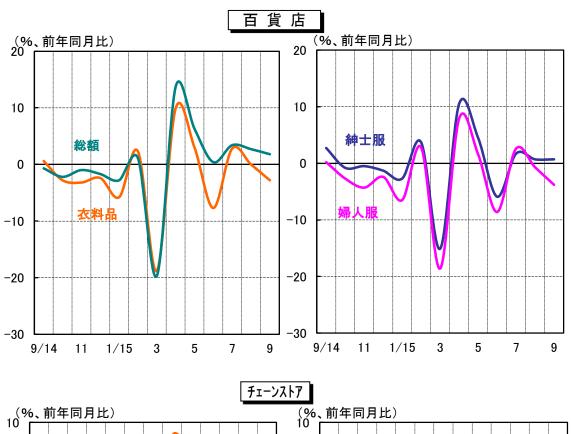


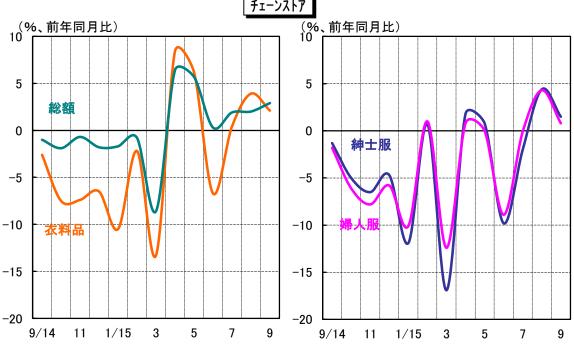
#### 炭素繊維生産

#### ◎8月は前年同月比1.1%増と3ヶ月連続のプラス。



## 図-6. 衣料小売額増減率(名目)





【総売上高】9月は全国的に雨天日が多く、特に東日本では台風接近により記録的な大雨となった。 一方でシルバーウィーク中の好天、休日が前年比1日増となったことから百貨店が前年同月比 1.8%増、チェーンストアも2.9%増といずれも6ヶ月連続で増加した。

(注)店舗調整後

(出所)日本百貨店協会、日本チェーンストア協会

【衣料品売上高】百貨店は前年同月比2.8%減、うち婦人服が3.8%減となった。チェーンストアは2.9%増と3か月連続で増加した。

表一4. 繊維品貿易額 (ドルベース)

	輸	出	輸	入	バランス	為替レート
	100万 <sup>ド</sup> ル	前年比(%)	100万 <sup>ド</sup> ル	前年比(%)	100万 <sup>ド</sup> ル	(円/テル)
2009年 計	7, 651	-16. 1	32, 375	-2. 6	-24, 724	93. 5
2010年 計	8, 943	30. 4	34, 391	15. 6	-25, 448	87. 8
2011年 計	10, 186	13. 9	42, 696	24. 1	-32, 510	79. 8
2012年 計	9, 887	-2. 9	43, 267	1. 3	-33, 380	79. 8
2013年 8月	692	-14. 3	4, 440	-1. 1	-3, 748	99. 2
10月	789	-5. 5	4, 440	2. 3	-3, 650	97. 9
11月	767	-4. 0	3, 472	-1. 8	-2, 705	100. 0
12月	774	-8. 9	3, 174	-4. 2	-2, 400	103. 5
2013年 計	8, 884	-10. 1	42, 632	-1. 5	-33, 747	97. 6
2014年 1月	542	-9. 6	3, 889	10. 6	−3, 347	103. 9
2月	718	9. 1	2, 455	-14. 4	-1, 737	102. 1
3月	758	−6. 5	3, 422	3. 3	-2, 664	102. 3
4月	757	-0. 2	3, 455	-7. 3	-2, 698	102. 6
5月	786	5. 7	2, 828	-7. 5	-2, 042	101. 8
6月	763	-4. 1	2, 811	-1. 9	-2, 049	102. 1
7月	801	6. 3	3, 394	-4. 6	-2, 593	101. 7
8月	726	-2. 4	3, 719	-11. 6	-2, 993	103. 0
9月	697	0. 7	4, 322	-2. 7	-3, 625	107. 1
10月	791	0. 2	4, 023	-9. 4	-3, 232	108. 1
11月	670	-12. 6	2, 938	-15. 4	-2, 268	116. 2
12月	768	-0. 8	3, 029	-4. 6	-2, 260	119. 4
2014年 計	8, 776	-1. 2	40, 285	-5. 5	-31, 509	105. 8
2015年 1月	610	12. 6	3, 275	-15. 8	<b>−2</b> , 665	118. 2
2月	587	-18. 3	3, 300	34. 4	-2, 713	118. 6
3月	710	-6. 3	2, 559	<b>−25.</b> 2	-1, 849	120. 4
4月	699	-7. 6	3, 096	-10. 4	-2, 397	119. 6
5月	689	-12. 4	2, 316	-18. 1	-1, 627	120. 7
6月	692	-9. 3	2, 539	-9. 7	-1, 847	123. 8
7月	716	-10. 6	3, 045	-10. 3	-2, 330	123. 2
8月	658	-9. 4	3, 495	-6. 0	-2, 838	123. 2
2015年 計	5, 360	-8. 4	23, 625	-9. 0	-18, 266	121. 0

(出所)財務省。以下表-6まで同様。

 <sup>2015</sup>年1~8月の繊維品貿易は、ドルベースで輸出が8.4%減の53億5,952万<sup>ト</sup>ル、輸入が9.0%減の236億2,543万<sup>ト</sup>ルといずれも減少した。
 同期の繊維品貿易赤字は182億6,570万<sup>ト</sup>ル、赤字幅は前年同期比9.2%縮小した。

表-5. 化繊主要品目の輸出実績

	単位	2014年1~8月	2015年1~8月	前年同期比(%)
合繊ステープル	チトン	142. 8	149. 5	4. 7
ポリエステル	"	20. 0	16. 7	<b>▲</b> 16. 7
アクリル	11	95. 2	107. 5	13. 0
合繊フィラメント	11	69. 0	66. 6	▲ 3.5
ポリエステル	11	12. 2	10. 1	<b>▲</b> 17. 0
ナイロン	11	27. 0	25. 3	▲ 6.3
合繊紡績糸	11	2. 8	2. 8	0. 9
アクリル	11	0. 7	0. 9	29. 1
合繊長繊維織物	百万平米	264. 1	272. 0	3. 0
ポリエステル	"	157. 6	158. 8	0. 7
ナイロン	11	75. 2	78. 0	3. 7
合繊短繊維織物	11	93. 2	96. 0	3. 0
ポリエステル	11	88. 9	92. 9	4. 6
レーヨンステープル	千ト ン	4. 8	7. 0	45. 3
化繊不織布	百万平米	418. 4	442. 0	5. 6
化 繊 合 計	<del>打</del> トン	426. 1	429. 2	0. 7

(注) 化繊合計は、ファイバー、糸、織物、二次製品、くずの計

#### 【1~8月】

- ポリエステルSは16.7%減の1.7万トン。インドネシアが53.1%減、中国が8.8%減と大 幅に減少した。
- アクリルSは13.0%増の10.8万<sup>ト</sup>ッ。最大仕向地の中国が9.3%増のほか、かつら用が好

- 調なアフリカが5.5%増。
  ・ポリエステルFは17.0%減の1.0万トッ、アジア、欧米の主要仕向地が軒並み減少。
  ・ナイロンFは6.3%減の2.5万トッ。最大仕向地のタイが6.9%減。
  ・ポリエステルF織物は0.7%増の1億5,878万㎡。中国は9.6%減と減少したが、ベトナムが26.7%増と大幅に増加した。ナイロンF織物は3.7%増の7,795万㎡。西欧向けが10.7%増加。
- ポリエステルS織物は4.6%増の9,293万㎡。中東向けが3.1%増。
- レーヨンSは45.3%増の7.0万/シ。中国が87.6%増。
   化繊不織布は5.6%増の4億4,198万㎡。中国が14.0%増のほか、米国が3.7%増。
   化繊合計は前年比0.7%増の42.9万/シ。

表-6. 化繊主要品目の輸入実績

	単位	2014年1~8月	2015年1~8月	前年同期比(%)
合繊ステープル	千トン	31. 0	33. 0	6. 4
ポリエステル	"	22. 1	23. 2	4. 8
セルロースS	"	12. 1	8. 9	<b>▲</b> 26. 7
合繊フィラメント	<i>II</i>	113. 1	116. 0	2. 6
ポリエステル	"	84. 0	85. 5	1. 8
ナイロン	"	20. 3	22. 2	9. 4
合繊紡績糸	<i>II</i>	21. 7	21. 4	<b>▲</b> 1.5
アクリル	"	4. 2	4. 0	▲ 5.8
ポリエステル	"	15. 4	15. 5	0. 7
セルロース紡績糸	<i>II</i>	6. 7	6. 2	▲ 8.1
合繊長繊維織物	百万平米	246. 5	254. 7	3. 3
ポリエステル	"	134. 6	140. 2	4. 2
合繊短繊維織物	<i>II</i>	121. 9	126. 9	4. 1
ポリエステル綿混	"	60. 4	58. 9	<b>▲</b> 2. 5
化繊二次製品	チトン	671. 9	646. 8	▲ 3.7
化繊不織布	百万平米	4, 669. 0	5, 352. 8	14. 6
合繊製セーター	100万着	170. 2	161. 3	▲ 5.2
化 繊 合 計	千トン	945. 1	922. 7	▲ 2.4
[ 綿 糸]	チトン	42. 8	38. 5	▲ 9.9
[ 綿織物]	百万平米	195. 0	180. 9	▲ 7.2

(注) 化繊合計は、ファイバー、糸、織物、二次製品、くずの計

〈参考〉 地域別の衣料品輸入

#### 【1~8月】

- ・セルロースSが26.7%減。うちレーヨンSが20.2%減。 ・ポリエステルSは4.8%増。韓国が29.6%増加した。 ・ポリエステルFは1.8%増。インドネシアが4.1%増。 ・ポリエステルF織物は4.2%増の1億4,023万㎡。 ・化繊不織布は14.6%増の53.5億㎡。 ・化繊合計は2.4%減の92.3万トッ。

(10倍円 %)

	U尼口 <b>、</b> %0/	
	2015年8月	前年同月比
米国	2. 0	5. 9
ΕU	19. 1	6. 8
アジア	319. 2	12. 2
中国	235. 3	6. 8
NI ES	1. 8	▲8. 2
ASEAN	71. 5	34. 7
世界	345. 2	12. 1

(注)シンガポールはNIES、ASEANの双方に含まれる。

# <参考> 綿花・原油価格の推移

綿花



### 原油



(出所)日本経済新聞